

くらし

“就職力”



10

よくある質問の答え準備

き学んでいくという前向きな姿勢を表現するのでもいいでしょう。ただし謙虚さも必要。

よつな答えが多い。マニユアル本でも読んでくるのでしよう。個性がなくてつまらないですよ」。人事担当者からこんなぼやきをよく聞きます。あなたらしくどう答えるか、次のようなやりとりを参考にしながら、質問に対する答え方の準備をしてください。

人は自分に自信のない「語り」のときほど、冗長な話し方になるものです。面接では簡潔な答えを工夫してみてください。

よく聞かれる質問に対する自分なりの答えを用意して、面接に臨むことが大事です。「どの応募者も同じ

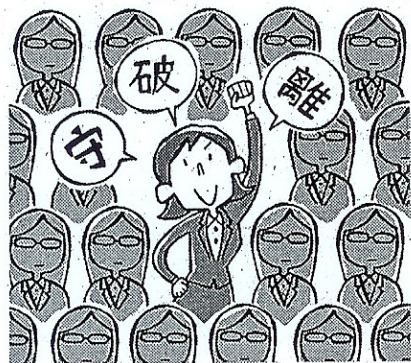
事の現場への自信はありませんか」との質問には、仕事を辞めてからもIT技術を磨いていたことなど簡潔に伝えましょう。仕事復帰の態勢づくりをしていたことをアピールします。「お給料はどのくらいご希望ですか」。求人票の数字で応募したことを伝えます。譲れない最低ラインは状況に応じて伝えてもよいでしょう。

「前の会社を退職したのにはなぜですか」。会社や仕事を理由にする「他責」は強調し過ぎないように。今度も同じような気持ちになるのではと不安を感じさせるだけで、そこから自分がどのように前向きになったかも大事なポイントになりません。納得してもらいやすい理由があったらほっき

り伝えることです。「今までどんな仕事をしていましたか」と聞かれたら、ダラダラと話さず、山を意識して、基本的には履歴書、職務経歴書に書いた事柄と矛盾しないようにします。

履歴書の回でも話しましたが、大事なのはルールを守り、独自の工夫を凝らす「守・破・離」の原則。面接の場も、基本はきちんと押さえながら、最後には、あなたらしさをどのように表現するかが問われる土俵です。

(人材教育コンサルタント 坂巻美和子、イラストは 長縄キヌエ)



木曜日に掲載します